

## OVomics™

## タマゴの殻をやぶり新たな産業をおこす

2026年3月12日（水）12:15~13:05

座長

佐藤 健司 先生

(京都大学大学院 農学研究科 教授)

B2会場/RY202



講演

金 英一

(株式会社ファーマフーズ)

未利用資源が未来をつつむ：卵殻膜から生まれた新繊維ovoveil

卵は21日間でヒヨコへと成長する神秘的な生命体である。我々は、卵黄・卵白から骨や神経が形成される点に注目し、卵を網羅的に研究する「ovomics (オボミクス)」を提唱してきた。この視点により、食品・化粧品・医薬品分野での応用を実現してきた。さらに近年は、卵の殻を「やぶる」新たな発想から、アグリ、繊維、電池材料といった新産業への展開も見出している。本講演では、身近な卵が切り拓く最新の産業可能性を紹介する。

講演

金 翼水 先生

(信州大学 副学長・繊維科学研究所 所長 卓越教授)

未利用資源が未来を動かす：卵殻膜から生まれた新電極材料

本講演では、未利用資源である卵殻膜 (ESM) を、次世代スーパーキャパシタ用の高性能電極材料へと転換した研究成果を紹介する。ESM特有の繊維状ネットワーク構造およびヘテロ元素に富む特性を活かし、多元素ドーブ型三次元多孔質活性炭と、金属ナノ合金およびMXeneを基盤とする二次元複合電極の開発に成功した。これらの電極は、従来の材料を凌駕する高い性能を示し完全循環型・持続可能エネルギー材料戦略の新たな可能性が期待される。